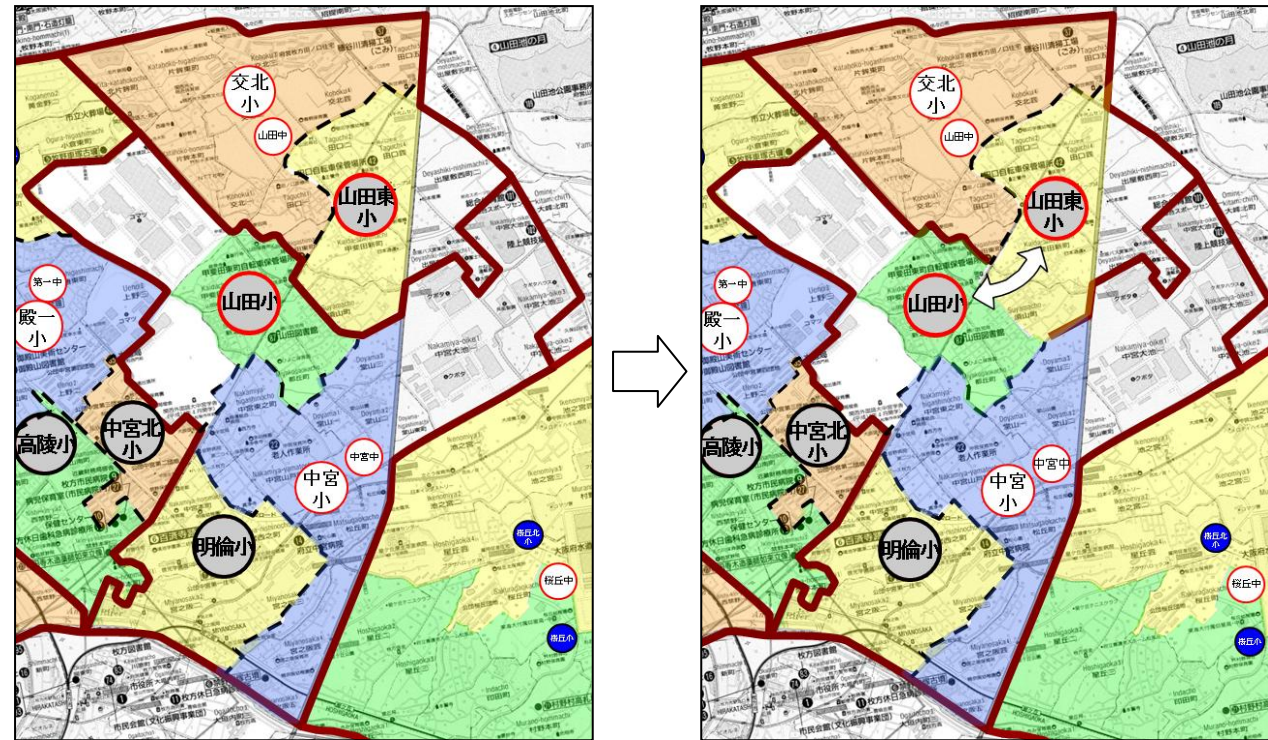


★ (方策番号) 中部H (4) 山田小学校 (5) 山田東小学校

- 山田小学校と山田東小学校を新設統合する。
ア. 山田東小学校敷地またはイ. 山田小学校敷地に統合校を設置する。



1. 学校規模

(1) 学級数・児童数の将来推計

(現行推計)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
山田小	学級数 (C L)	9 (3)	7	7	7	7	7	7	10	12	10	6	6
	児童数 (人)	230 (12)	209	203	203	200	194	183	243	245	222	187	160
山田東小	学級数 (C L)	12 (2)	11	10	10	8	7	8	10	7	6	6	6
	児童数 (人)	274 (6)	264	241	234	226	208	209	230	216	202	181	159

(統合後の推計)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
統合校	学級数 (C L)	18 (3)	17	15	15	14	12	12	16	16	14	12	12
	児童数 (人)	504 (18)	473	444	437	426	402	392	473	461	424	368	319

(2) 住宅開発等の情報

- ・山田小学校の校区は、ほとんどが既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない。
- ・山田東小学校は、校区内に一部農地が存在するものの、多くは既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない、また、国道1号より南部の区域についても市街化調整区域であり、新規の住宅開発は見込めない。

2. 施設規模

(1) 学校用地の状況

	建物敷地面積	運動場面積	その他面積	敷地面積	形状等
山田小学校	6,257 m ²	9,093 m ²	—	15,350 m ²	不整形、元幼稚園用地(現:集会室等に使用)に隣接。
山田東小学校	8,356 m ²	10,704 m ²	632 m ²	19,692 m ²	法敷無し。整形。借地(年額約236千円)

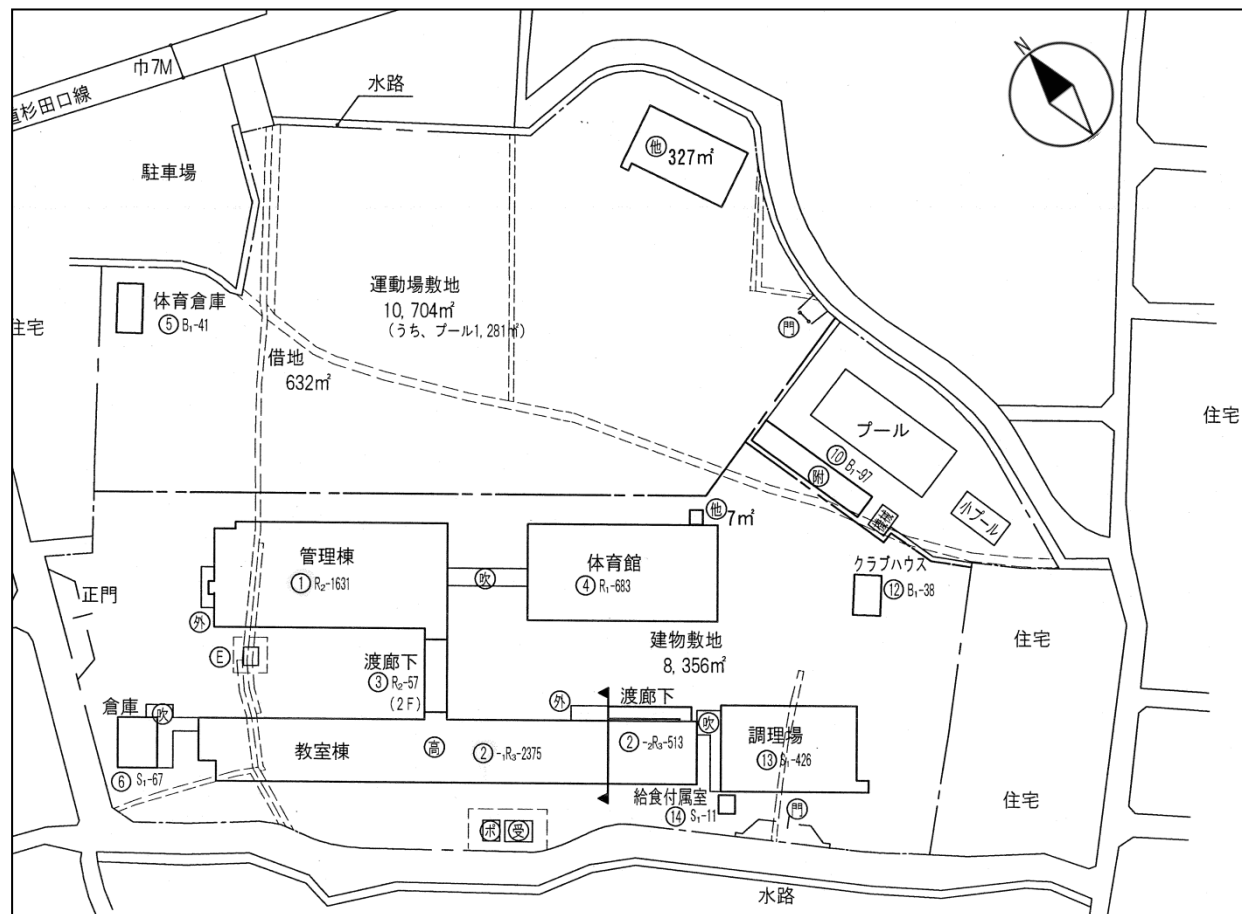
* 小学校設置基準面積(運動場)

統合した場合の最大児童数(473人)	4,730 m ² (*2400 m ² + 10 m ² × (473人 - 240人))
--------------------	---

(山田小学校 配置図)



(山田東小学校 配置図)



(2) 建物の状況

学校名	棟の種類	棟番号	構造区分	階数	建築年	保有面積
山田小学校	校舎(保有教室数:19教室)					4,032
	管理棟	2	R	3	S45.3.1	1,449
	教室棟	3	R	2	S33.3.1	576
	教室棟	3	S	1	S48.9.1	18
	教室棟	4	R	2	S32.3.1	801
	教室棟	7	R	3	S43.3.1	992
	教室棟	29	R	2	S48.9.1	196
	体育館	25	R	1	S58.2.1	685
その他					240	
山田東小学校	校舎(保有教室数:25教室)					4,387
	管理棟	1	R	2	S55.3.1	1,631
	教室棟	2	R	3	S55.4.1	2,756
	体育館	4	R	1	S55.3.1	683
その他					300	

* 小学校設置基準面積 (校舎)

統合した場合の最大児童数 (473人)	2,665㎡ (*500㎡ + 5㎡ × (473人 - 40人))
---------------------	------------------------------------

* その他 留守家庭児童会室の状況

学校名	定員 (H27.4.1 現在児童数)	余裕教室使用状況	専用施設床面積 (㎡)
山田小学校	50 (39)	-	90.60
山田東小学校	54 (51)	-	185.25

(3) 施設整備の予定

- (山田小学校) 学校施設整備計画の第1期実施計画整備候補施設 (建築後40年以上)
- (山田東小学校) 学校施設整備計画の第2期実施計画整備候補施設 (建築後30年以上)

(4) 増築等の必要性

	統 合 校	
	ア 山田東小学校敷地に設置	イ 山田小学校敷地に設置
最大時における必要教室数	26教室 (通常学級16CL + 支援学級3CL + 多目的室等7CL)	
パーティーション対応時	23教室 (通常学級16CL + 支援学級2教室 + 多目的室等5CL)	
不足数 (パーティーション対応時)	1教室 (不足なし)	7教室 (4教室)
増築等の方法	必要なし	

3. 通学区域

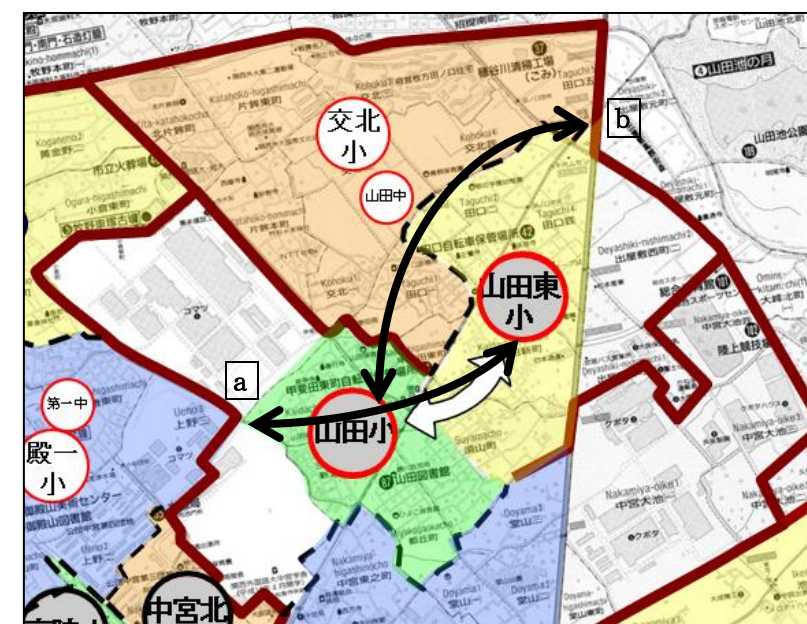
(1) 最長通学距離

(現行)

学校名	最長地域	距離
山田小学校	都丘町38番付近	約0.9km
山田東小学校	須山町55番付近	約0.8km

(統合後)

統 合 校	最長地域	距離
ア 山田東小学校敷地に設置	甲斐田町25番付近 …… a	約1.3km
イ 山田小学校敷地に設置	田口2丁目34番付近 …… b	約1.4km



★ (方策番号) 中部H (4) 山田小学校 (5) 山田東小学校

(2) 校区の状況

	統 合 校	
	ア 山田東小学校敷地に設置	イ 山田小学校敷地に設置
不自然な通学様態の有無	交北小学校区の区域（田口1丁目、甲斐田東町の一部）を通過して通学する可能性がある。	
地形地物による地域分断の有無	国道1号線（ただし、国道1号より東側は、工場や倉庫、店舗、農地であり、住宅地はない。）、府道杉田口禁野線、市道甲斐田三栗第2号線あり。	
校区における学校の位置	東西方向及び南北方向のやや中央寄りに位置する。	東西方向及び南北方向のやや中央寄りに位置する。
通学区域の広さ・形状	東西方向 2.0km 南北方向 1.9km で、不整形	
その他	校区の北西端及び国道1号より東側は、工場または工場地帯。また校区の西端に大学が立地。	

4. 小中連携

	統 合 校	
	ア 山田東小学校敷地に設置	イ 山田小学校敷地に設置
進学中学校	山田中学校	中宮中学校
「一小一中の」接続関係の確保	統合は、中学校区を跨ぐため「一小一中」の接続関係とならない。なお、「一小一中」とするため中学校区を山田中校区に変更する場合、再度の変更となる区域（甲斐田町、新之栄町）が発生する。また中宮中校区に変更する場合、通学距離が現行に比べ著しく長くなる区域（田口2丁目）が発生する。	
中学校区を変更する場合における中学校の学校規模	○山田中学校校区とした場合 ・山田中：適正規模（平成30年度13CL、ただし、平成55年度6CL。） ・中宮中：適正規模（平成30年度9CL、ただし、平成55年度6CL。） ○中宮中学校校区とした場合 ・中宮中：適正規模（平成30年度16CL） ・山田中：小規模校（平成30年度6CL 更に小規模校となる。平成40年度3CL。）	
小中一貫校（一体型）の設置可能性	なし。	なし。
統合後中学校区における最長通学距離	都丘町38番付近…約1.9km	田口2丁目36番付近…約2.2km
通学支援策等	—	

5. 地域連携

(1) 学校の沿革等

	山田小学校	山田東小学校
設置年月	・明治12年 開校（本年度創立136年）	・昭和55年 山田小、交北小から分離開校
沿革等	・昭和32年 明倫小に一部分離 ・昭和45年 交北小に一部分離 ・昭和47年 中宮小に一部分離 ・昭和50年 田口山小に一部分離 ・昭和55年 山田東小に一部分離	

(2) 自治会等の区域

- ・学校統合後の自治会分断の有無：なし